

皆さんの「声」を聞かせてください！

拡大版／E チーム

3/8（土）に行われた、多世代が参加した町民インタビューのレポートの5回目です。子育て世代と子ども世代が町のあり方を振り返ることで、「子どもを育てるには良い環境が揃っている」というメリットを見出すことができました。

（参加者）



10代



40代



70代



中山町は
子育てに
向いている町！

スポーツ施設が
充実している

地域の人たちが
優しい

子どもたちに
地域の人たちが
あいさつを返してくれる

自然が豊かで
子どもが
外で遊びやすい

高校生まで
医療費が
無料

小中学生は
給食が無償で
提供される

中学生まで
英検受験に
補助が出る

子育て世代に訴求するPRをもっと展開してもいいと思う！

勉強は
ほんわ館
一択！

本を読めるだけでなく、
勉強もできるのが
嬉しい

自習スペースが
限られていて、
満席になることも多い

テスト期間や受験シーズンにな
ると、ほんわ館の自習室の利用
者が増えるので、席に座れない
ことが多くなる。もっと気兼ね
なく勉強できる場所ができれば
いいのに...

飲食もできるので、
1日勉強できる

新しい学習スペースを
つくるなら、
どんなところがいい？

ある程度
自由にしゃべったり、
飲食できるところがいい！

フードコートよりは
落ち着いた
ところがいいなあ

おしゃれな
場所だったら最高！

子どもたちの学習意欲をハード・ソフト両面からサポートする必要あり！

イベントが
小学生向け
ばかり...

全国かぶと虫相撲大会
ドッジボール大会
雪中カルタ大会

中高生も
参加できるイベントが
ほしい

大人も一緒に
体を動かすような
イベントがあったらいいのに

多世代で楽しむイベントがあれば、

世代間交流をとおして中山町への愛着を育む機会にもつながるはず

1 子育てに優しい町！

参加者からは「子育てに適した町だと思う」という意見が複数上がりました。自然が豊かで屋外で遊びやすい点や、子どもに対する補助金制度（小中学生の給食費無償、英検受検料補助等）が充実している点が、子どもにとっても親にとってもありがたい環境であるという意見でした。

また、「地域の人たちが優しい」として、「小学校までの道のりが長くて、子どもが徒歩で通うことに

不安があったが、道中で地域の人たちがあいさつをしてくださって、親としても安心して通わせることができた」というエピソードも語られました。

公共施設としても、特にスポーツ施設が充実していて、子どもがさまざまなことにチャレンジできる環境があるとして、こうした子育てするうえで良い点をもっとアピールしたほうがいいのではないか、という意見も出ました。

2 子どもたちの学習意欲を支えるサービスの充実を

子どもたちがよく利用する施設としては、図書館機能だけでなく自習もできる「ほんわ館」が挙げられました。ただし、これまでのインタビューでも聞かれましたが、テスト期間や受験期になると学習室の利用者が増加し、席に座れないことが多いことから、「いつでも勉強できる環境がほしい」という意見も出ました。

さらに、現在のほんわ館のような「勉強に集中す

る」ことに重きを置いた施設ではなく、自由におしゃべりできたり、飲食も可能な「もっと自由な学習スペースがほしい」という声も聞かれ、ショッピングセンターのフードコートよりは落ち着いていて、ほんわ館よりも自由度の高い学習スペースへのニーズがあることがわかりました。

子どもたちの学習意欲を支えるためのハード・ソフト両面のサービスの充実が求められているようです。

3 イベントにもっとバリエーションがほしい！

中山町で長年続いているイベントの一つに「全国かぶと虫相撲大会」があります。町外からも参加者が多く訪れ、町内で小学校時代を過ごした町民にとっては思い出のイベントになっています。子ども時代の思い出をうかがうと、「ドッジボール大会」や「雪中カルタ大会」が挙げられましたが、すべて小学生が対象となっているイベントです。こうした現状に対して、高校生の参加者から「自分たちも参加できるイベント

がほしい」「大人も一緒に体を動かすようなイベントがあったらいいのに」という意見が出されました。高校生は、進学によって町外で過ごす時間が増え、町との接点が少なくなっていくます。そうした中で、多世代で楽しむイベントがあれば、世代間交流をとおして中山町への愛着を育む機会にもつながると考えます。イベントのあり方を工夫することで、多世代交流へのニーズに応えることができるのではないのでしょうか。

公共施設再配置計画については、その必要性が「第6次中山町総合発展計画」にて説明されています。以下 URL または、右記コードよりご確認ください。

◎中山町「第6次中山町総合発展計画を策定しました」

<https://www.town.nakayama.yamagata.jp/soshiki/seisaku/machidukurisuishin/214.html>



【主催】中山町総務広報課防災安全対策室（中山町大字長崎 120 番地／電話：023-662-4899）

【制作】東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科 田澤ゼミ

〈2025 年 7 月発行〉